

令和3年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

福 祉

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文章は「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）に示された教科「福祉」における科目『生活支援技術』の目標である。後の(1)～(3)の設問に答えなさい。

福祉の見方・考え方を働かせ、(①)的・(②)的な学習活動を行うことなどを通して、適切で(③)・(④)な生活支援技術を提供するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) (⑤)の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) (⑤)の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な(⑥)に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、(⑤)の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

- (1) 文中の空欄(①)～(⑥)に適する語句をそれぞれ答えよ。
- (2) 下線部について、ここで言う「福祉の見方・考え方」とは、どのようなこと意味しているか、簡潔に説明せよ。
- (3) 平成30年の学習指導要領の改訂において、福祉ニーズの高度化と多様化へ対応するために、科目『生活支援技術』に追加となった内容は何か。理由を含めて答えよ。

- 2 社会福祉に関する、次の(1)～(6)の設問に答えなさい。

- (1) 「ノーマライゼーション」とはどのような理念か、簡潔に説明せよ。
- (2) 1942年に発表された「社会保険および関連サービス（ベバリッジ報告）」において、社会の発展をはばむ5つの悪としてあげられたものをすべて答えよ。
- (3) 生活保護の扶助のうち、現物給付となる扶助の種類を2つ答えよ。
- (4) 生活保護の扶助のうち、高等学校への就学費用に対しても給付される扶助の種類を答えよ。
- (5) 社会保障制度の費用負担に関連する、次の①～③の語句について簡潔に説明せよ。

- ① 応益負担
- ② 応能負担
- ③ 償還払い

- (6) 介護保険制度に関する次の①～③の問いに答えよ。

- ① 2018年4月に、介護療養型医療施設のおもな移行先として創設された施設を答えよ。
- ② 要介護認定・要支援認定の結果に不服がある場合はどこに審査請求をするか答えよ。
- ③ 地域包括支援センターに配置することが原則となっている3専門職をすべて答えよ。

3 介護福祉に関する、次の(1)～(4)の設問に答えなさい。

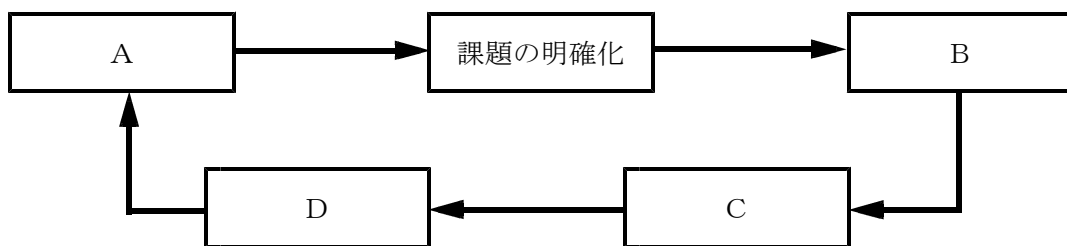
(1) 介護福祉士が秘密保持義務違反をした場合、登録の取り消しまたは期間を定めた名称の使用制限に加えて、社会福祉士及び介護福祉士法第五十条ではどのような罰則を規定しているか答えよ。

(2) 下の①、②がそれぞれ何を表すマークか説明せよ。

①

②

(3) 介護過程の展開について表した、下図のA～Dに適する語句を答えよ。



(4) 介護実習の教育効果を高めるために、介護総合演習の授業内における介護実習の事前・事後指導で取り扱うべき内容や指導上の工夫について、具体例を挙げて詳しく説明せよ。

4 コミュニケーションおよび記録に関する、次の(1)～(7)の設問に答えなさい。

(1) 重度の運動性失語症のある人とコミュニケーションをとる場合、どのようなことに注意してコミュニケーションをとるとよいか。「非言語的コミュニケーション」、「文字体系」、「質問の仕方」の3つの観点を必ず含めて、具体的に説明せよ。

(2) 経験の浅い介護職の実践能力について、管理運営能力を持つベテランの介護職が指導・教育・評価を行う一連のプロセスを何というか答えよ。

(3) 時計の文字盤をイメージして、物や場所の位置を説明することを何というか答えよ。

(4) 援助者が、相手の持っている力（強さ）を引き出し、主体的な取り組みを進めていけるような支援を行うことを何というか答えよ。

(5) 「あき」を点訳した場合の凸面を正しく表したものは次のア～エのどれか。記号で答えよ。

ア

●	●
●	●
●	●

イ

●	●
●	●
●	●

ウ

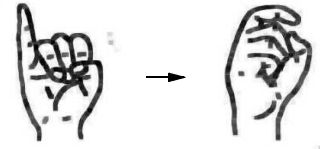
●	●
●	●
●	●

エ

●	●
●	●
●	●

(6) 右図の指文字が示す言葉を次のア～エから選び、記号で答えよ。

ア いぬ イ あめ ウ いと エ ある



(相手から見た図)

(7) Aさんの家族関係について、次の情報を基にジェノグラムを作成せよ。

- ・対象者のAさんは80歳で、デイサービスの利用を考えている。妻(78歳)は同居している。
- ・Aさんには、息子2人と娘1人がいる。
- ・Aさんの長男(53歳)は、妻(55歳)と息子2人の4人で暮らしていたが、長男は3年前の20歳の時に交通事故で亡くなり、現在は次男(18歳)と3人で暮らしている。
- ・Aさんの次男(50歳)は、独身で、一人暮らしをしている。
- ・Aさんの娘(45歳)は、30歳の時に結婚し、娘を1人もうけたが、夫とは離婚し、現在はAさん夫婦の家で、娘(14歳)とともに4人で暮らしている。

5 こころとからだのしくみについて、次の(1)～(6)の設問に答えなさい。

(1) 次の①～③は要介護者によくみられる疾病の特徴である。①～③の疾病の名称を答えよ。

- ① 眼球内に含まれている液体がつくる圧力(眼圧)が、液体の出入バランスの不調で上昇し、視神経を圧迫して視野や視力が悪化する。
- ② 動作や活動が緩慢になり、歩行のスピードや活動性がおとろえるとともに、安静時に手指のふるえが認められる。介護保険法施行令第2条の特定疾病に該当する。
- ③ 慢性気管支炎と肺気腫の2つを総称した疾患のことで、気管支や肺に障害が生じ、肺への空気の通りが悪くなり、呼吸がしにくくなる。介護保険法施行令第2条の特定疾病に該当する。

(2) 体内の特定の部位にある内分泌腺より分泌される物質のことを何というか答えよ。

(3) イギリスのキットウッド(Kitwood, T.)によって提唱された認知症ケアの理念を答えよ。

(4) フランスの2人の体育学の専門家ジネスト(Gineste, Y.)とマレスコッティ(Marescotti, R.)が開発した介護の技法を答えよ。

(5) 認知症の中核症状とBPSD(行動・心理症状)の関係性について、具体例をあげて詳しく説明せよ。

(6) PTSDとは何か簡潔に説明せよ。

6 生活支援技術について、次の(1)～(7)の設問に答えなさい。

(1) パルスオキシメーターは何を測定するための機器か答えよ。

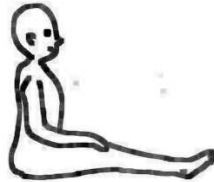
(2) 介護福祉士が口鼻腔内吸引を行う際、どこまで吸引チューブを挿入することができるか答えよ。

(3) 下図のA～Cの体位の名称をそれぞれ答えよ。

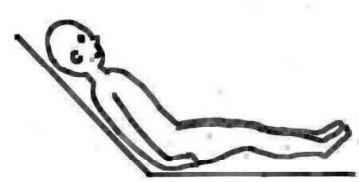
A



B



C



(4) ボディメカニクスとはどのようなことか説明せよ。

(5) 車いすの座面を広げる際、両手をハの字にして広げることが推奨されているが、その理由を説明せよ。

(6) ICF（国際生活機能分類）の構成要素のひとつである「活動」は2つに分けることができる。この2つの活動について簡潔に説明せよ。

(7) 入浴・清潔保持の支援について、校内実習を行う際の指導上の留意点をあげよ。

科目	福祉 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号		氏名	
----	---------	---------	------	--	----	--

(3年)

1

(1)	①		②		③	
	④		⑤		⑥	
(2)						
(3)						

2

(1)						
(2)						
(3)				(4)		
(5)	①					
	②					
	③					
(6)	①		②			
	③					

3

(1)						
(2)	①					
	②					
(3)	A		B		C	
(4)						

科目	福祉 解答用紙	2 枚中の 2	受験番号		氏名	
----	---------	---------	------	--	----	--

(3年)

4

(1)							
(2)				(7)			
(3)							
(4)							
(5)		(6)					

5

(1)	①		②		③	
(2)		(3)		(4)		
(5)						
(6)						

6

(1)				(2)			
(3)	A		B		C		
(4)							
(5)							
(6)							
(7)							

以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	福祉 解答用紙	2 枚中の 1	受験 番号	氏 名	(3年)
--------	---------	---------	----------	--------	------

1 【10】

(1)	①	実践 (1)	②	体験 (1)	③	安全 (1)	
	④	安楽 (1)	⑤	自立生活 (1)	⑥	根拠 (1)	
(2)	生活に関する事象を、当事者の考えや環境の継続性に着目して捉え、人間としての尊厳の保持と自立を目指して、適切かつ効果的な社会福祉と関連付けること。						(2)
(3)	平成23年の介護福祉士養成課程の見直しにより追加された喀痰吸引・経管栄養を安全、適切に実施するため、生活支援技術の内容に医療的ケアを追加された。						(2)

2 【26】

(1)	障害者をその障害と共に受容することであり、彼らにノーマルな生活条件を提供することである。						(2)
(2)	貧困 (1)	病気 (疾病) (1)	無知 (1)	不衛生 (不潔) (1)	失業 (怠惰) (1)		
(3)	医療扶助 (2)		介護扶助 (2)		(4)	生業扶助 (2)	
(5)	①	受けたサービスの量に応じて支払う方法					(2)
	②	利用者の支払い能力に応じて負担額を増減させる方法					(2)
	③	利用者がサービスの費用をいったん全額支払い、後から自己負担分を除いた額について保険者から払い戻しを受けること。					(2)
(6)	①	介護医療院 (2)	②	介護保険審査会 (2)			
	③	主任介護支援専門員 (1)	社会福祉士 (1)		保健師 (1)		

3 【18】

(1)	一年以下の懲役又は三十万円以下の罰金						(2)	
(2)	①	オストメイト（人工肛門・人工膀胱を造設している人）対応のトイレ入り口・案内誘導プレートに表示されるマーク					(3)	
	②	内部障害や難病、妊娠初期の人など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている人が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることができるマーク					(3)	
(3)	A	アセスメント(情報の収集) (1)	B	介護計画の立案 (1)	C	実施 (1)	D	評価 (1)
(4)	事前指導では、実習施設についての理解を深めるとともに、介護実習が施設及びサービス利用者の理解・承諾を前提として成り立っていることを理解させる。また、介護実習の意義や目的、内容、実習生としての役割や心構え、危機管理や個人情報保護について扱う。 事後指導では、実習の振り返り、介護の知識や技術を実践と結びつけて深化・統合化を図ると共に、自己の課題を明確にする。さらに、介護実習のレポートや実習記録、感想文等を作成し、以後の介護実習にも活用できるようにするとともに、介護実習の成果を発表できる機会を持ち、介護実習の情報共有を図る。						(6)	

以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	福祉 解答用紙	2 枚中の 2	受験 番号	氏 名	(3年)
--------	---------	---------	----------	--------	------

4 【11】

(1)	非言語的手段として、身振りや表情、指さし、絵カードなどを活用する。文字でコミュニケーションをとる場合、仮名より漢字を使うと理解しやすい。質問をする際には、できる限り「はい/いいえ」や「○/×」「頷き/首振り」で答えられるようにする。				(3)	
(2)	スーパービジョン (スーパーバイズ)	(1)	(7)		(3)	
(3)	クロックポジション	(1)				
(4)	エンパワメント	(1)				
(5)	ウ (1)	(6)				ア (1)

5 【16】

(1)	①	緑内障	(2)	②	パーキンソン病	(2)	③	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	(2)	
(2)		ホルモン	(1)	(3)	パーソン・センタード・ケア	(2)	(4)	ユマニチュード	(2)	
(5)	中核症状は認知症の人にほぼ共通してみられる症状で、周辺症状は中核症状に伴い二次的に出現する個人差のある症状である。例えば、中核症状の記憶障害により財布をどこに置いたか忘れてしまい、周辺症状として他人に盗られたと訴えるもの盗られ妄想が出現する。									(3)
(6)	外傷的体験 (自然災害、家庭内暴力、交通事故など生命と身体に脅威となる体験) によって、恐怖、無力感など強い感情反応を表すストレス障害									(2)

6 【19】

(1)	動脈の血液中の酸素の量 (動脈血酸素飽和度)		(2)	(2)	咽頭手前まで		(2)		
(3)	A	端座位	(1)	B	長座位	(1)	C	半座位 (ファーラー位)	(1)
(4)	骨格や筋肉などの相互作用で起こる身体の動きのメカニズム								(2)
(5)	フレームに手 (とくに小指) をはさまないようにするため								(2)
(6)	活動は、している活動と、できる活動に分けることができる。している活動は、利用者が毎日の生活のなかで特別に意識したり努力したりすることなく行っていることで、できる活動は、実際には行う力を持っており訓練や適切な支援によってできるようになることである。								(2)
(7)	入浴や清潔保持の意義や目的、入浴の楽しみを支える支援方法、転倒・転落など入浴に伴う事故の予防と安全な浴室環境の整備について触れる。また、プライバシーに配慮した安全・安楽な入浴・清潔保持、部分浴、清拭、福祉用具の効果的な活用方法を取り上げる。								(6)